

横浜市交通政策推進協議会
第12回地域交通部会 会議要旨

1 日時 令和元年10月31日(木) 10:00～11:30

2 場所 横浜市役所本庁舎6階 B会議室

3 議事内容

- (1) 部会メンバーの拡充について
- (2) 地域交通の充実に向けた本市の取組について
- (3) 今後の地域交通部会での活動の提案
- (4) 講演

4 議事要旨

(1) 部会メンバーの拡充について

横浜市都市整備局都市交通課から説明。

今後、横浜市健康福祉局地域包括ケア推進課もメンバーに加わることとなった。

(2) 地域交通の充実に向けた本市の取組について

横浜市都市整備局都市交通課及び道路局企画課から説明

(3) 今後の地域交通部会での活動の提案

横浜市都市整備局都市交通課から説明

ア 市民向け地域交通パンフレット(仮称)監修について

(主な意見)

- ・個別のサービス名が混在しているので、表現を変えたほうがよい。
- ・情報提供として、近々、タクシー協会では、タクシー運賃とマイカー保有に係る費用のどちらが安いか分かるサイトを公開する予定。
- ・パンフレットは完成後、HPで公開してはどうか。
- ・個人なのか事業者なのか、対象者を分かりやすく表記したほうがよい。
- ・車いす車両を固定する、玄関まで連れて行ってくれるなど、どこまで何をやってもらえるのかが知りたい。
- ・国は高齢者の移動手段についてのマニュアルを作成更新した。

イ 個別テーマに合わせた分科会や講演会の開催について

(福祉関連)

- ・福祉有償運送を行う中で、市の制度がうまく使えない場合がある。福祉有償運送を撤退する団体も多い。制度とのマッチングについて議論できないか。

(タクシー関連)

- ・免許返納割引について、コスト問題や不正対策、元々免許を取得していない人との不公平をどうするかなど課題はある。自治体が補助する場合もあるようだ。

(4) 講演

大豆戸地域ケアプラザ・包括支援センター 稲田説子氏による講演

(横浜市)

- ・地域福祉を推進する上で、地域ケアプラザは市民に近い立場なので、それに対しても応援していきたい。福祉のまちづくりの指針を令和3年に更新する予定。その中に様々な事例を載せたいと思っているので、協力をお願いしたい。
- ・部会は、普段なかなか聞くことができないタクシー事業者などの意見も聞けるので良い場である。
- ・要介護者の半数が認知症である。皆でどんなサービスがよいのか考えていきたい。
- ・地域を総合的に見なくてはいけないと痛感した。課題を見つけていきたい。

(福祉関連)

- ・移動手段は色々提供されているが、その中で自分に一番合うのを探すのが課題である。利用者は介護保険を使える事業者寄りになっている。スマホを利用したり、ボタン一つで呼べたりといった、将来像を語れたらよい。
- ・障害児の移動について問合せがくることが多い。移動の課題を解決するにあたっては、タクシーが要になると思う。

5 出席者

(1) 委員

- ・特定非営利活動法人かながわ福祉移動サービスネットワーク
- ・アサヒタクシー株式会社
- ・神奈川中央交通株式会社
- ・株式会社共同
- ・東宝タクシー株式会社
- ・特定非営利活動法人横浜移動サービス協議会
- ・横浜市 健康福祉局 企画課

- ・横浜市 健康福祉局 福祉保健課
- ・横浜市 健康福祉局 障害福祉課
- ・横浜市 健康福祉局 高齢在宅支援課
- ・横浜市 道路局 企画課 交通計画担当
- ・横浜市 都市整備局 都市交通課（事務局）

(2) **オブザーバー**

国土交通省関東運輸局神奈川運輸支局